

〔類聚雜要抄四〕

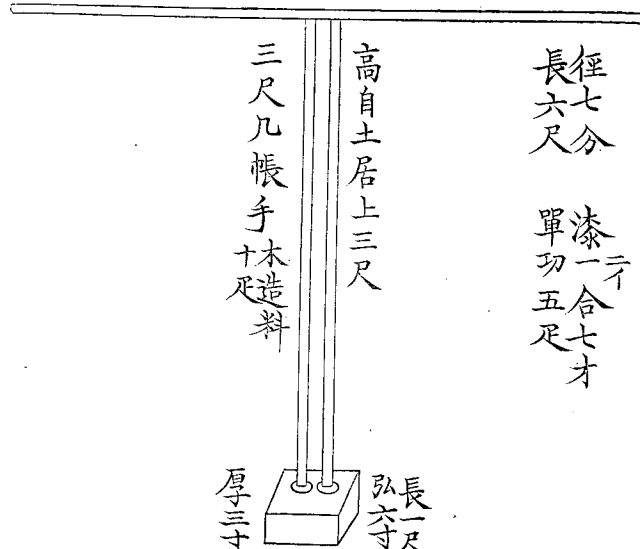
漆二合并一升
六合

徑七分
長六尺
漆一合七才
單切五尺

高自土居上三尺

三尺几帳手木造料
十尺

長一尺五分
弘六寸二分
厚三寸五分



几帳手

〔枕草子三〕まきの御さうじの西をもての略中 南のやり戸のそばに、き帳のてのさしいでたるに
さはりてすだれのすこしあきたるより、略下
〔雅亮装束抄一〕もやひさしのてうどたつる事
りうびんまきたるた、みのひんがしみなみすみに三尺のくろぬりのてのき丁のおもて、つね

四尺几帳八本
木作料十五尺、塗料五尺、
手長八尺、又七尺五寸、口徑八分、又八分半、
壑徑手定、高從土居四尺、土居長一尺二寸、
弘八寸、又七寸三分、厚四寸五分、又四寸三分、
八九寸、木一丈、土居八料、檜樽二寸、手八料
一寸、壑八料、
帷夏白生平絹ニ以白泥野篠秋草等書之、
又次様繪胡粉用之、凡裏白粉張也、
紐冬濃打物、又黒打、夏者生平絹、黒染也、冬
面纈纈三丈、裏三丈、紐四丈五尺、黒染、
凡五幅、長六尺、幅別ニ如中紐付之、又臨時
美麗ニ調時者、白唐綾ニ纈纈之文ヲ以紫
糸、纈、又以金精畫文、夏唐之生物、以金精畫
繪、紐、赤色、織物練生隨時也。